

第19回世界セーフコミュニティ会議への参加について

1. 開催期日等

日 時：平成 22 年 3 月 23 日～26 日

会 場：韓国水原市（スウォン）

2. 参加の必要性

(1) WHO の認証指標

認証にかかる 6 つの指標のうち、6 番目に「国内・国際的なセーフコミュニティのネットワークに継続的に自治体として参加すること」という指標が設定されている。

今後も、国内外において積極的にセーフコミュニティのネットワークに参画していくことが必要である。

(2) 豊島区の姿勢をアピール

認証取得に向けては、日本から参加する自治体とも連携しつつ、豊島区の熱意と姿勢を関係者に積極的にアピールしていく必要がある。

特に、短期間での認証取得を目指す豊島区にとっては重要なステップである。

3. 参加者

- ・ 政策経営部政策調整担当副参事 齊藤
 - ・ 総務部防災課長 佐藤
- (※両名とも、豊島区のセーフコミュニティ担当として参加)

- ・ 関東近県からの参加

神奈川県厚木市、長野県箕輪町、長野県小諸市、長野県警察本部、その他 NPO 等

4. プレゼンテーション用資料等

- ・ 掲示資料 豊島区及び既存活動の紹介、のぼり旗
- ・ 配付資料 豊島区パンフレット
- ・ 配付グッズ ステッカー、キーホルダー、職員手作りの折り紙（フクロウ、コマ）
- ・ 重要関係者用 フクロウブローチ